

4 学年の栽培計画



栽培する植物をどう選ぶか

「季節と生き物」では身近な活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と季節の関わりについて考えていきます。

夏に急激につるを伸ばして開花し、秋に結実するヘチマやヒョウタンは季節との関わりがわかりやすい植物です。ニガウリやキュウリ、スイカは、夏休みに収穫期が重なることが難点ですが、子どもたちの人気が高く、意欲的な取組みが期待できます。

ヘチマやキュウリに代わるものとしてはハヤトウリ。何しろ強く、つるの成長が早い植物で、世話をしなくてもぐんぐんと成長します。

前学年でいろいろな植物を扱ったあとなので、畑を休ませる意味でもすっきりと畑全面をサツマイモという手もあります。つるの成長を観察するためには、サツマイモのつるをみな同じ方向に伸ばして、メジャー代わりの竹竿に印をつけていきます。



他教科や総合的な学習の時間との関連での配慮

豆もやしからエダマメ、完熟した豆へと変化していくダイズは食物の成長と季節の関わりをとらえるうえでももしろい植物です。さらに、ダイズはきなこ、納豆、豆腐、味噌などの食品、とくに発酵食品として広がりのある学習材といえます。

ヒョウタンは加工の素材としておもしろく、総合でも取り上げたい作物です。（協力/毛利澄夫）

月	学期	関連する単元	ヘチマ	キュウリ	ニガウリ	ダイズ
3	休	季節と生き物				
4						
5	一学期					
6						
7	休	季節と生き物				
8						
9	二学期	季節と生き物				エダマメ収穫
10						乾燥実収穫
11						
12						
1	三学期					
2						